

発明の名称:

貝類養殖用容器及び貝類養殖方法

利用・用途・応用分野

シジミやアサリなどの貝類の養殖

目的・課題

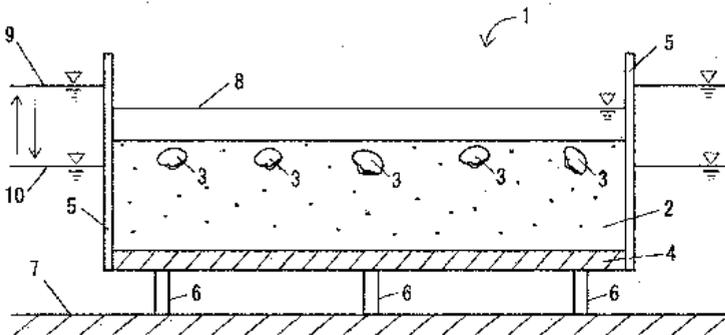
近年、河川、湖沼、浅瀬などの汚染やヘドロの堆積などによって、シジミ・アサリの漁獲量が減少している。シジミは肝機能保全に適した健康食品として注目されているが、漁獲量は年々減少しており、多くは外国輸入に頼っているのが現状である。シジミやアサリなど、汽水域や浅瀬の砂中に生息する貝類の効果的な養殖方法が望まれている。

解決ポイント

容器の側壁部が不透水性、底部が透水性で、底部の上には砂層があり、容器内外への水の出入りは必ず底部及び砂層を通過する流れを作る。この容器を、汽水域水面付近や浅瀬水面付近に設置すると、潮の干満により底部を通して容器内外へ水を出入りさせ、砂層内の水を流動させ、藻の栄養分や溶存酸素が砂層内に供給され、餌となる藻の生育が促進される。貝類の生息に対する地形的制約を除去し、効率的な養殖が可能となる。

研究概要・アピールポイント

水面付近に設置することで潮の干満を利用して容器内の砂層の水を流動させ、砂層内の貝類の生育が促進できる貝類養殖用容器及び貝類養殖用容器を利用した貝類養殖方法。



- 1 貝類養殖用容器
- 2 砂層
- 3 貝類(シジミ・アサリ等)
- 4 底部(ポーラス体)
- 5 側壁部(不透水性)
- 6 支柱
- 7 地面
- 8 容器内の水面
- 9 満潮時の水面
- 10 干潮時の水面

実施形態の概略図

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp